

## 第5回甲府市中心市街地活性化協議会議事録

1. 開催日時 平成20年1月16日(水) 午後2時～午後4時
2. 開催場所 甲府商工会議所4階401会議室
3. 出席者 18名(本人出席17名、別添名簿参照)
4. 事務局出席 甲府商工会議所 地域振興部 部長 北井武国  
" " 課長 越石 寛  
甲府市中心市街地活性化協議会事務局 野澤 崇

### 5. 議事内容等

開会の後、丸茂会長より、「本日は、第5回目の協議会の開催にあたり、委員各位にはご出席賜りありがとうございます。現在、甲府市の基本計画につきましては、市原委員長が中心となって進められた策定委員会の提言も終わり、いよいよまとめの段階に入って参りました。本日は、この基本計画の骨子の説明を中心に議題を協議するので、委員各位のご協力をお願いしたい。」旨のあいさつをした。

続いて、丸茂会長に議長に就任いただき、次の議事について、事務局等に説明を求め、それぞれの内容について意見を聞いた。

#### 1) 甲府市中心市街地活性化基本計画について

甲府市の中心化市街地活性化主幹 中澤氏より、当協議会より提言があった事業並びに甲府市の策定委員会からの提案を受けて、骨子を策定し、それを基に住民説明会やパブリックコメント・住民アンケートなどを経て、別添「甲府市中心市街地活性化基本計画」(案)を策定した経緯などと共に、計画(案)に掲載されている具体的な43事業と国から求められている数値目標などについて概要説明があった。

また、併せて、1月11日に初めて中心市街地活性化本部と計画の認定に向けた具体的な打ち合わせを行ったことやその打ち合わせの感触から、認定が今年の初夏あたりになりそうだという説明もあった。

#### 2) 駐車場問題検討ワーキングの開催状況について

事務局より、商店街関係者・大型店関係者・小規模駐車場関係者・行政などで構成するワーキングを立ち上げ、現在までに3回会議(10/5、10/31、11/29)を開催し、消費者が利用しやすい共通駐車券システムについて検討している経緯を説明した。

過去3回の開催の中では、他地域の事例・駐車場の機械の現状等を説明するなかで、何とか大型店と小規模商店・駐車場で利用できる共通券システムを構築しようということについては、ほぼ合意に達したが具体的な内容については、今後検討していき、平成20年度中にはシステムを実現していきたい旨も併せて説明した。

以上1)と2)の議題について説明した後、各委員からは、次のような意見・質問が出されたので、今後、甲府市が国に提出する最終計画(案)の参考としていただくよう要望した。

- 市原委員：私としてこの計画の内容が良い悪いかを議論するより、どうやって実行していくかを議論していくことが、今後の大きな課題と考えている。このような観点からその実行組織である「まちづくり会社」の設立には大きな期待をかけている。
- 長坂委員：この計画の中を見ますと、北口の開発、紅梅町再開発とあるものの、岡島から南の中央商店街のエリアにもうひとつ核になる開発事業を是非実現して欲しい。特に生鮮食料品を中心に市場的なものが必要と考える。
- 首藤委員：土地を取得したペルメ桜町の地権者等に開発の意向などについて確認しているものの、現状すぐに開発できるような状況でもないと考えている。しかし、郊外に大型店が出店する状況があることから、あまり時間的な余裕もないので、出来ることから手を付けていきたい。
- 牛奥委員：年々、中心街から魚屋さんや八百屋さんなどの専門店がなくなってしまって、高齢者にとっては利用しにくくなっている。高齢化社会が進む現状の中では、計画の中身ももう少し高齢者に配慮した内容を検討して欲しい。
- 雨宮委員：レトボンの拡大運行については計画に盛り込まれたものの、高齢化社会に向けた公共交通に対する方策が削除されてしまったので、具体的に盛り込んで欲しいと考える。
- 高野委員：お互いに意識を持って、一つずつでも事業を着実に実施していくことが大切である。
- 谷口委員：計画の優先順位と実行責任者などを明確にしていくことが必要。その中で、その実行部隊である「まちづくり会社」に意見集約をしていくことが大切である。また、商人のためのまちづくりでなく、生活者中心のまちづくりが必要。
- 宇佐美委員：紅梅町の再開発を行う中で、重要なのは土地を持っている地権者がどのようにしたいか意見集約することが一番大切。
- 有井委員：時代の流れが速いので、具体的な実行部隊である「まちづくり会社」を早く立ち上げて、スピードを持って計画実行していくことが大切。
- 樋口委員：人口が減少していく中で、街に住んでいただくことが大切であると考えている。私共の朝日町は、幸い近くに病院もある、学校もある、大型スーパーもあるといううたい文句で商店街周辺にまずは住んでいただくことを考えているので、住んでいただくために歩道整備などをきちんと進めて欲しい。
- 河西委員：中央商店街新生協議会が実行部隊として既に、動きだしている事業があるので、少しずつ実行していきたいと思っている。しかし、商店街も後継者がいなくて厳しい状況なので、なかなか前に進まない苦しい現実もある。
- 浅川委員：自治会としては、一番大きい問題は高齢化しているということ。やはり、住民を増やしていくことを考えて欲しい。また、自転車を活用している人が多いので専用レーンの整備なども大きな課題である。
- 清水委員：私としても、中心に住んでもらう方策をもっと考えてもらいたい。

議長は、各委員並びに事務局に対してその他の案件について、意見等を求めたところ、特になく、議事を終了した。

第5回甲府市中心市街地活性化協議会 出席状況

役職名	委員名	所属団体・役職名	1/16
会長	丸 茂 紀 彦	甲府商工会議所 常議員	
副会長	長 坂 善 雄	甲府商店街連盟 会長	
委員	首 藤 祐 司	甲府市 副市長	
"	渡 辺 恭 史	甲府商工会議所 専務理事	
"	高 野 洋志雄	甲府中央まちづくり(株) 専務取締役	
"	河 西 眞 一	甲府中央商店街新生協議会 会長	
"	樋 口 幹 男	朝日通り商店街(協)	
"	谷 口 俊 郎	甲府市大型店協議会 代表	
"	宇佐美 太 郎	紅梅地区再開発組合 理事長	
"	浅 川 健 一	春日地区自治会連合会 会長	
"	清 水 明	" 副会長	
"	有 井 昇	(株)山梨中央銀行 執行役員 営業統括部長	
"	雨 宮 正 英	山梨交通(株) 常務取締役	
"	牛 奥 久 代	甲府市女性団体連絡協議会 会長	
"	森 澤 昌 子	子育て支援団体「ハッピーキッズ」代表	
"	市 原 実	山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 教授	
"	丹 沢 良 治	NPO法人 街づくり文化フォーラム 理事長	×
オブザーバー	深 沢 博 昭	山梨県 商業振興金融課 課長	代
"	跡 部 位	甲府警察署 交通課 課長	

= 出席、× 欠席、代 = 代理出席